

若田名誉館長杯 「キャリア・シュートロボット大会 2012」

活動報告

日時 2013年1月20日(日)

9:45□ 11:30 キャリアロボット大会(小学3□6年生対象)

13:15□ 15:00 シュートロボット大会(中学生対象)

会場 さいたま市青少年宇宙科学館

機械学会埼玉ブロック参加者 趙、峯岸

内容

若田名誉館長杯「キャリア・シュートロボット大会 2012」とは、昨年まで15年間行われていた科学者の卵コンテストを引き継いだ大会でもあり、本年度より、9月1日に開催されたローバーロボット大会と今回1月20日に開催されたキャリア・シュートロボット大会となった。

本大会は、他者と協力し合いながらロボットなどを製作する事を通して、ものづくりの楽しさを味わわせるとともに、創意工夫した成果を競い合う体験を通して、創造性豊かな青少年を育成する事を目的としている。当日は、午前中にキャリアロボット大会(小学3□6年生対象)、午後にシュートロボット大会(中学生対象)が実施された。以下に大会の状況を報告する。

一、キャリアロボット大会

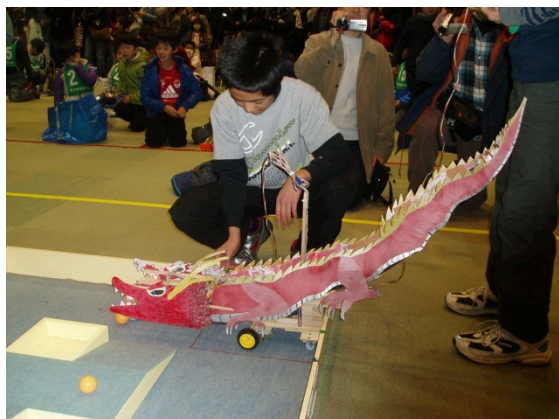
概要

配布されたキットセットを基に製作したキャリアロボットを操縦して、一定時間内に指定したゴールにボールを運び、その点数を競う。試合は全チームによる予選と予選上位8チームによる決勝トーナメントを行う。

大会状況

予選は全部で38チームの参加があり、各ロボットともベースとなる機材は共通ではあるが、規定上、配布されたキットの部品を1つでも使った上で、全ての箇所での改造を認めるという事で、各チーム共、独自の工夫が見られ、感心させられた。特にボール

を拾う為の構造に各チームとも独特な方法を取り入れていた。日ごろの練習とロボットの改良など家族を含めた応援で、ポイントが入る際に、大きな歓声が上がり盛況であった。



優勝レッドドラゴン



趙先生から特別賞授与

成績

優勝チーム レッドドラゴン

準優勝チーム ガレージ 効

3位チーム WスターSY

特別賞（機械学会賞） ①てんとるーず3、 ②リミットギア

二、シュートロボット大会

概要

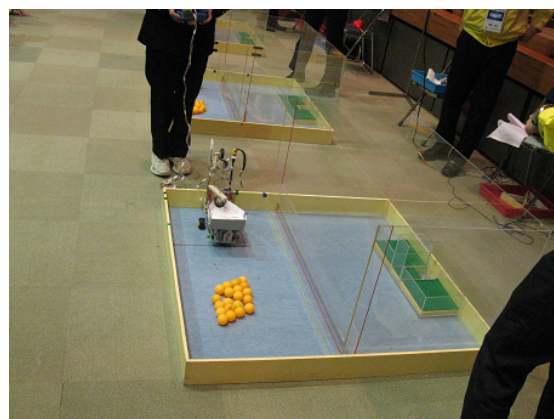
配布されたキットセットを基に製作したシュートロボットを操縦して、一定時間内に指定したゴールにボールをシュートし、その点数を競う。試合は全チームによる予選と予選上位8チームによる決勝トーナメントを行う。

大会状況

小学生対象のキャリアロボットコースより中学生対象のシュートロボットコースが難しく設定され、特に65cm以上離れた所からボールを正確に目標ボックスに投げ入れることが大きな挑戦課題となっていた。そこで、中学生の部では学校単位で大会に取り込んでいるチームが多く、みんなの知恵と力を合わせて、一丸になって競技で戦い、更に高得点が得られた瞬間に一緒に歓声をあげることに感心させられた。また選手の他に学校からわざわざ応援に来た学生も多く見られた。



得点を競い合う様子



特別賞(機械学会賞)Team 宮前 B

成績

優勝チーム SEK

準優勝チーム BLACK 3

3位チーム ① WRS ②メビウス

特別賞(機械学会賞) Team 宮前 B